



2016年12月期 第1四半期決算説明会

井関農機株式会社
取締役 専務執行役員 富安 司郎
2016年5月17日



目次

1. 2016年12月期 第1四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2016年12月期 業績予想
4. トピックス

※前期実績との業績比較について

2015年度(前期)は決算期変更に伴い9ヶ月の変則決算

財務報告ベースの対象期間

	1-3月	2015年度			2016年度			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
旧3月決算会社 (井関農機 他)								
12月決算会社 (国内販売会社 他)								

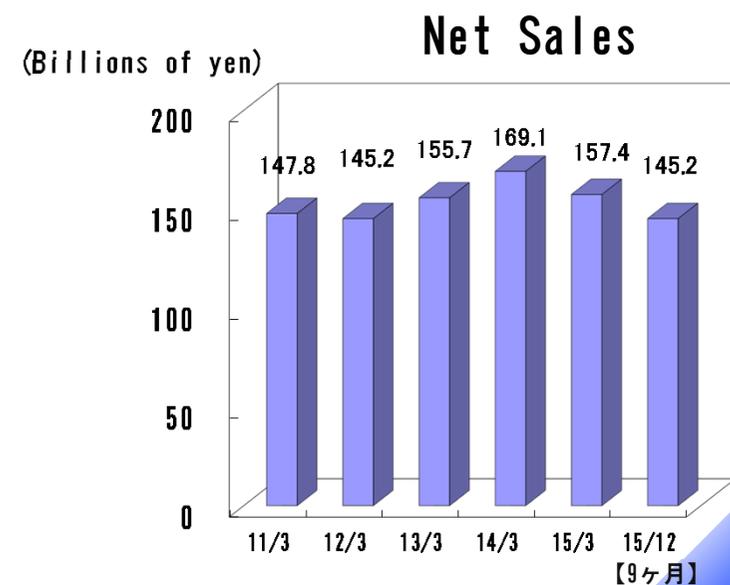
調整後ベース：2015年度実績の対象期間を2016年度と同期間に調整

	1-3月	2015年度			2016年度			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
旧3月決算会社 (井関農機 他)								
12月決算会社 (国内販売会社 他)								

※フランスの子会社のみ9月決算となっております。(第1四半期では、10~12月を計上)



1. 2016年12月期 第1四半期業績の概要



第1四半期連結業績の概要

(単位：億円、%)

科 目	15/12期 1Q 調整後ベース		16/12期 1Q 実 績		前年同期比 (調整後比) 増減	16/12期 1Q 計画	計画比 増 減
		比率		比率			
売 上 高	356	100.0	377	100.0	+21	387	△10
(国内)	269	75.6	282	74.8	+13	290	△8
(海外)	87	24.4	95	25.2	+8	97	△2
営業利益	△20	△5.6	△4	△1.1	+16	△5	+1
経常利益	△23	△6.5	△7	△1.9	+16	△5	△2
親会社株主に帰属する 四半期純利益			△6	-		△5	△1

*16/12期1Q 為替レート実績は、米ドル：117.3円、ユーロ：128.1円

国内売上高の内訳

(単位：億円)

	15/12期 1Q 調整後 ベース	16/12期1Q 実績	前年同期比 (調整後比)		16/12期 1Q 計画	計画比 増減	
			増減	備考			
農業 製品	整地機	77	77	+0		86	△9
	栽培機	27	24	△3	田植機 △3	28	△4
	収穫調製機	30	30	+0		33	△3
	計	134	131	△3		147	△16
	作業機	38	44	+6		45	△1
	部品	25	27	+2		26	+1
農業 関連 事業	施設工事	9	21	+12		10	+11
	その他農業関連	63	59	△4		62	△3
	合計	269	282	+13		290	△8

海外売上高の内訳

(単位：億円)

	15/12期 1Q 調整後 ベース	16/12期1Q 実績	前年同期比 (調整後比)		16/12期 1Q 計画	計画比 増減
			増減	備考		
北米	37	25	△12	トラクタ△13	30	△5
欧州	27	31	+4	トラクタ+3	31	+0
中国	8	15	+7	田植機+6	17	△2
アセアン	1	7	+6	トラクタ+5	2	+5
その他	7	10	+3	田植機+3	10	+0
製品計	80	88	+8		90	△2
部品その他	7	7	+0		7	+0
合計	87	95	+8		97	△2

営業利益

(単位：億円、%)

科 目	15/12期 1Q 調整後 ベース	16/12期1Q 実 績	前年同期比 (調整後比) 増 減	16/12期 1Q 計画	計画比 増 減
売上高	356	377	+21	387	△10
売上総利益	97	105	+8	109	△4
粗利率	27.2%	27.8%	0.6%	28.2%	△0.4%
販管費	117	109	△8	114	△5
営業利益	△20	△4	+16	△5	+1

【営業利益増減内訳】

[前年同期比]	・ 増収に伴う利益の増	: + 3
	・ 人件費削減	: + 8 (内販管費+4)
	・ その他経費削減	: + 8 (内販管費+4)
	・ その他	: △ 3 (為替△1他)
		+16
[計画比]	・ 減収に伴う利益の減	: △ 4
	・ 人件費削減	: + 2
	・ その他経費削減	: + 3
		+ 1

経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	15/12期 1Q 調整後 ベース	16/12期1Q 実績	前年同期比 (調整後比) 増減	16/12期 1Q 計画	計画比 増減
営業利益	△ 20	△ 4	+16	△ 5	+1
金融収支	△ 1	△ 2	△1	△ 1	△1
その他営業外収支	△ 2	△ 1	+1	1	△2
経常利益	△ 23	△ 7	+16	△ 5	△2
特別利益	2	4	+2	1	+3
特別損失	△ 4		+4	△ 1	+1
税前利益	△ 25	△ 3	+22	△ 5	+2
税、税調整額		△3			△3
親会社株主に帰属する 四半期純利益		△6		△ 5	△1

【前年同期比増減内訳】

【特別損益】	・ 投資有価証券売却益	: + 4
	・ 前期の課徴金計上	: + 3

バランスシート

(単位：億円)

科 目	15/3月末	16/3月末	前年同期末比 増 減	15/12月末
現金・預金	66	152	+86	88
売上債権	304	307	+3	249
棚卸資産	477	493	+16	478
(うち製品在庫)	(308)	(304)	(△4)	(297)
その他流動資産	71	46	△25	52
固定資産	1,123	1,118	△5	1,144
資産合計	2,041	2,116	+75	2,011
仕入債務	387	412	+25	400
借入金	576	710	+134	567
その他負債	367	334	△33	363
(負債計)	(1,330)	(1,456)	(126)	(1,330)
純資産	711	660	△51	681
(うち利益剰余金)	(157)	(126)	(△31)	(135)
負債・純資産合計	2,041	2,116	+75	2,011



2. 国内外市場の動向



土壤センサ搭載型可変施肥田植機
NP80-FV(8条植え)

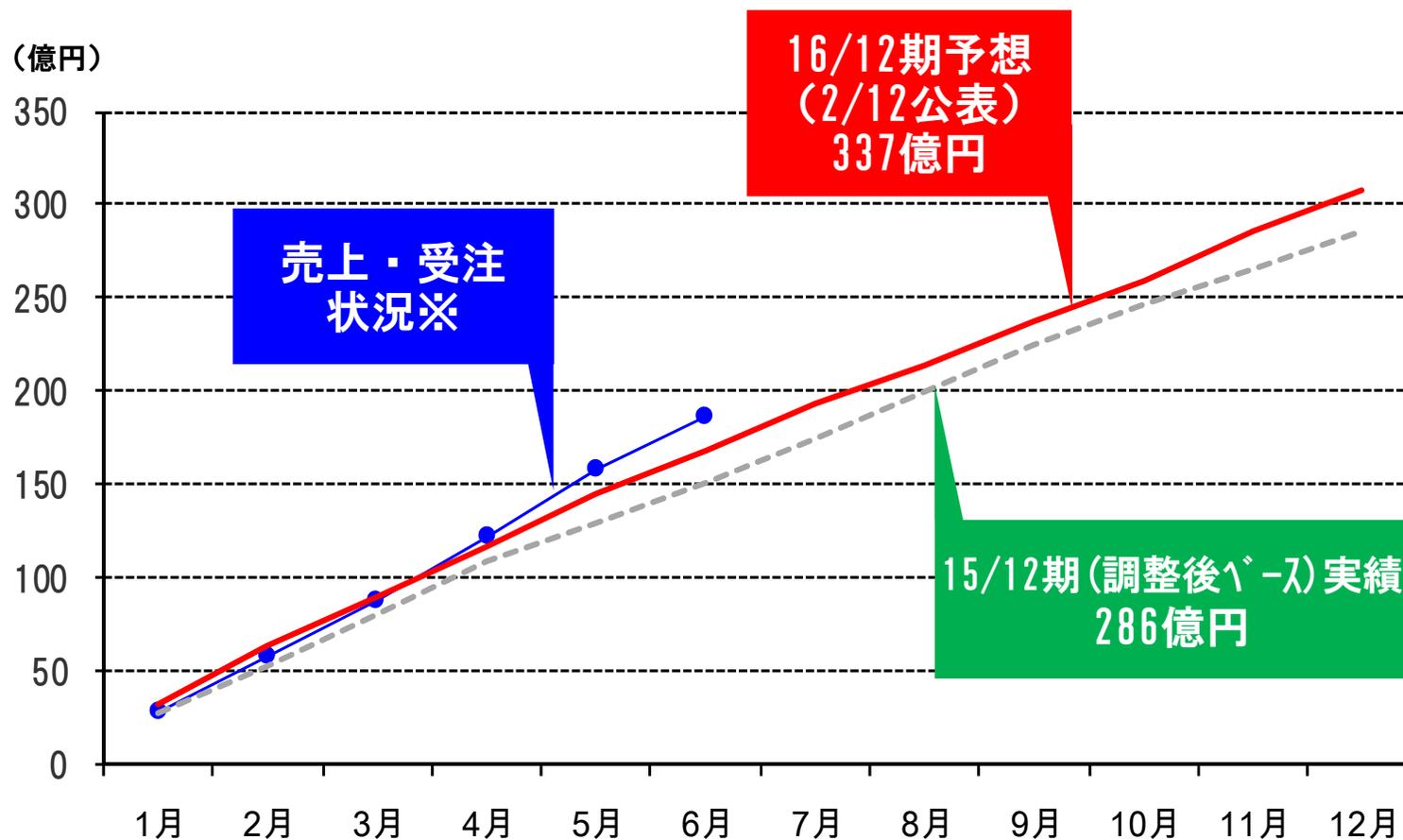


国内 農機出荷と当社状況

主要 9 機種 前年伸長率（金額、移動年計） ※当社推計
 （単位：％）

		13/3	14/3	15/3	15/9	16/3
業界	（出荷金額）	106	127	67	76	98
当社	（実売金額）	104	117	73	89	107

海外 製品売上の直近状況



※16/12期受注 (1-6月) : 1-3月は売上実績、4-6月は受注ベース
「部品 その他」は含まず

海外市場の動向（北米）

1. 市場の動向

（単位：千台）

区分 (PTO馬力)	コンパクト (40hp以下)			ユーティリティ (40hp以上、100hp以下)		
	米国	カナダ		米国	カナダ	
2015年1-3月	18	2	20	11	1	12
2016年1-3月	23	2	25	12	1	13
増減率	126%	79%	122%	103%	89%	102%

出所：AEM統計
(米国機器製造者団体：Association of Equipment Manufacturers)

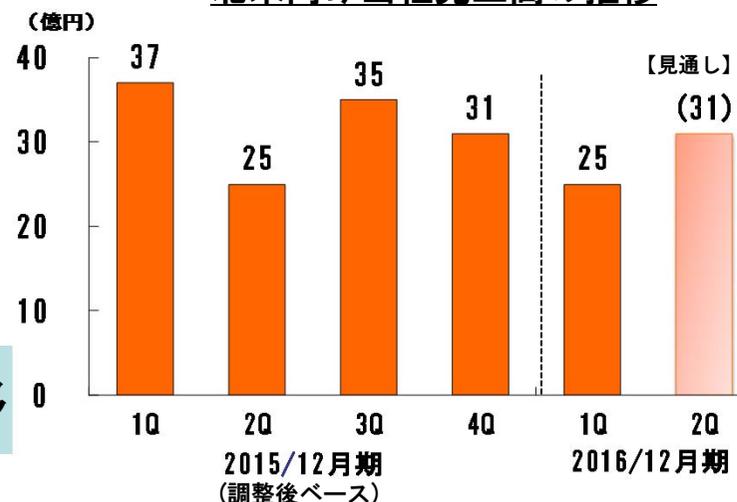
四捨五入のため増減で一致しないものがある

2. AGCO社(OEM先)の状況

実売台数(16/1-3月)

- コンパクトトラクタ 前年を上回る
- ユーティリティトラクタ 前年を上回る

北米向け当社売上高の推移



3. 当社の状況

出荷・受注(1-6月)：4月以降好調に推移

コンパクト市場堅調。さらなる売上拡大を目指す。

海外市場の動向（欧州）

1. 市場の動向

景観整備市場：暖冬の影響により、ウィンターシーズンの需要低調

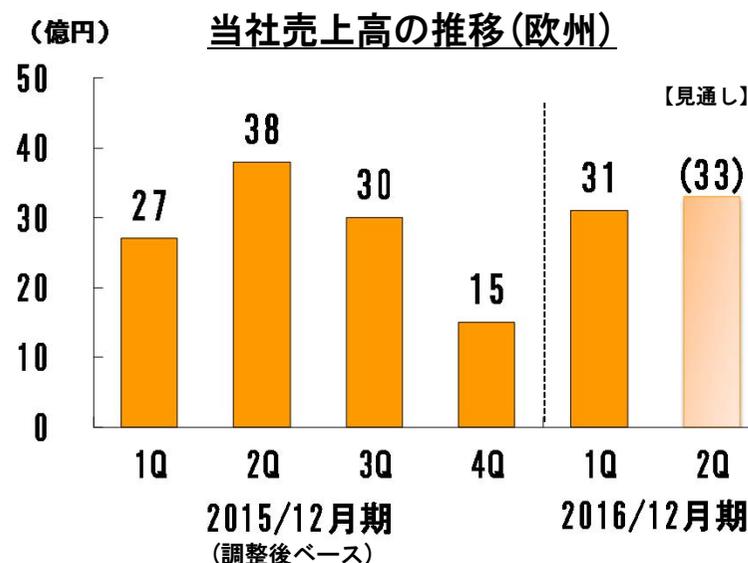
2. 販売代理店の状況

- 実売台数（16年）
 - ・ 現地販売代理店（1-3月）：前年を下回る
- ISEKIフランス（1-3月）：前年を下回る（連結子会社）

3. 当社の状況

- 出荷・受注（1-6月）：計画どおり

新商品の販売推進等により実売増を狙う。



海外市場の動向（タイ）

1. 市場の動向

景気低迷に加え、長引く干ばつの影響により先行き不透明

2. 現地販売会社〔ISEKI SALES (THAILAND)〕の状況【三菱商事80%、当社20%出資】

昨年投入した新商品（トラクタ）を中心に販売好調。

- ・ 実売台数（1-3月）： 前年を上回る

3. 現地法人〔ISEKI (THAILAND)〕の設立

今年9月設立予定。

タイを中心としたアセアン全域での販売支援、アフターサービス支援。

販売会社による拡販、
新現地法人の販売支援により、
さらなる売上拡大を目指す。



海外市場の動向 (インドネシア)

1. 市場の動向

引き続き政府入札による需要増を見込む

2. 当社の状況

➤ 販売

政府による農業・農機普及推進政策

2016年も引き続きトラクタ、歩行田植機の受注獲得
(中国生産)

前年を上回る受注獲得を目指す。

海外市場の動向（中国）

1. 市場の動向

■中央政府補助金

									(億元)		
2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014年	2015年	2016年			
40	130	155	175	215	217.5	238	238	第1期	209		
									年間	237.5	

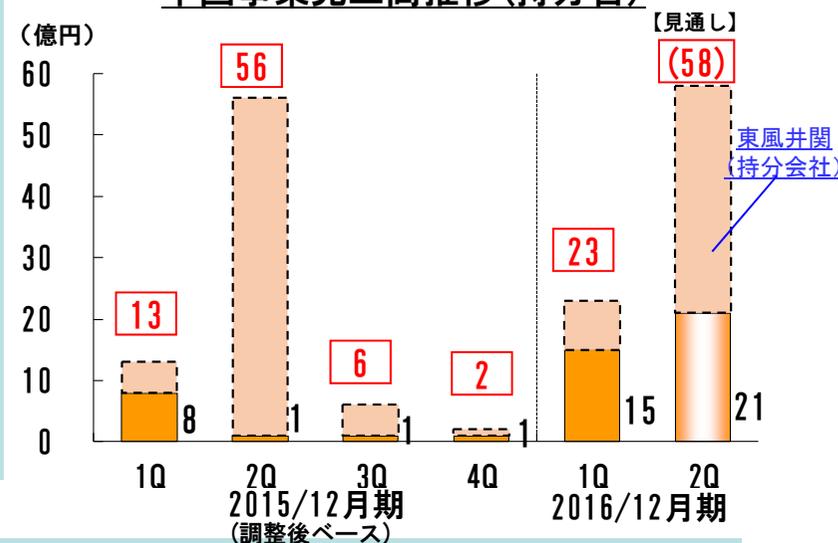
2. 東風井関の状況

東風井関の販売台数(16/1-3月)

*中国から東南アジアなどへの輸出は含まず

- 田植機(歩行・乗用) : 前年を上回る
- 防除機 : 前年を上回る
- トラクタ(本格販売) : 順調なスタート

中国事業売上高推移(持分含)



田植機、防除機好調。

春シーズンの田植機の販売推進、トラクタの本格販売により、さらなる売上拡大を目指す。



3. 2016年12月期 業績予想



国内向け 収量センサ付コンバイン
HJ-Sシリーズ（4条～6条刈）



2016年12月期 業績予想

1. 業績予想

(単位：億円)

科 目	15/12期 調整後ベース		16/12期 予想※		前年同期比 増減	
	2Q累計	通期	2Q累計	通期	2Q累計	通期
売上高	763	1,568	830	1,650	+67	+82
営業利益	6	2	14	35	+8	+33
経常利益	6	4	13	32	+7	+28
親会社株主に帰属する 当期純利益			7	19		

*想定為替レートは、米ドル：120円、ユーロ：130円

※：2月12日公表予想

*平成28年熊本地震による影響につきましては、現在精査中

今後業績への影響が見込まれる場合には、必要に応じて速やかにお知らせいたします。

2. 期末配当予想

(単位：円)

15/12期	16/12期 予定
1.5	1.5～3.0



4. トピックス

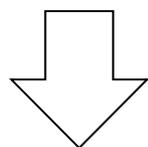


(1) タイ現地法人の設立

■ 「ISEKI (THAILAND)」 設立 4月発表

アセアン地域における

- ・ 井関製品等の販売支援、および営業戦略の企画・立案。
- ・ 作業機、部品の開発・調達。
- ・ パーツセンターなどアフターサービス支援。



2016年9月設立予定

【ISEKI(THAILAND)の概要】

資本金	90百万バーツ(約3億円)
出資比率	井関農機株式会社 100%
決算期	12月31日
所在地	バンコク市

(2) 夢総研ブランチオープン

<戦略拠点>

夢ある農業総合研究所(夢総研)

(茨城県つくばみらい市)

先端営農技術の研究実証・普及

- ・ 展示ホール
- ・ 実証圃場
- ・ 作業棟
- ・ 研究室・セミナールーム

展示ルーム



人材育成

広域ブランチ展開

担い手に営農提案
できるプロ人材

「アグリヒーロー
応援プロジェクト」

人材
配置

国内各地の
販売会社に展開
「夢総研ブランチ」



広域販売網

「夢九研」九州アグリサポートセンター

■夢総研ブランチ 第1号 2月オープン

“九州における提案型展示研修施設”



【夢九研の概要】

敷地面積	5,620㎡
展示研修棟	1,492㎡
展示倉庫	1,823㎡
圃場	隣接840㎡+実証圃場4ha
所在地	熊本県益城町

九州の野菜算出額：全国の約2割

▶野菜作関連提案強化

- 野菜作機械展示
- セミナーの実施
- 野菜作推進チーム

▶近隣に実証圃場（モデル農場）

- 地域に合った栽培の実証・提案

▶先端営農技術提案

(3) モデル植物工場 開業

■先進的な植物工場の研究・実証施設 3月開業

愛媛大学様との共同実験

2005年 愛媛大学様と共同研究開始
(愛媛大学内に研究施設)
2014年 植物生育診断装置開発



【モデル植物工場の概要】

設備内容	太陽光利用型植物工場(ダッチライト型ガラス温室) 植物生育診断装置、複合環境制御装置 他
建物面積	500㎡
所在地	愛媛県松山市(井関松山製造所内)



＜植物生育診断装置＞ 農業食料工学会
「H28年度開発特別賞」受賞

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。
 本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。